

常磐小学校区自主防災会 会報 第9号

自治会員の
皆様へ

はじめに

今、日本中が、想定される広域激甚災害に対し、あらゆる方向から減災に取り組んでいますが、公的支援の圧倒的な不足想定は変わらず、ここ常磐小学校が避難所になつても約1ヶ月は住民のみで運営するようなことが定説になりつつあります。このため、校区自主防災会は、公的支援が届かない初動期より関連死等第2次災害を出さないことをを目指しています。

令和5年12月の会報第8号では、被害想定を解説し、常磐小学校区自主防災会の目的と令和5年中の活動報告を行いました。今号は、主に、観音寺市より「令和6年度組織活性化事業補助金180万円」を得て、校区避難所用の資機材調達が大幅に進展中であることをお知らせします。記事は、巨大地震想定における最も一般的な行動予想、避難所の開設方法、資機材調達と今後の資機材披露を含む訓練計画に記載します。

巨大地震への備え

① 観音寺市総合防災マップより引用
② 住まいの耐震診断と耐震化
③ 家の中の安全対策

1 自助まとめ

- ・観音寺市総合防災マップより引用
- ・住まいの耐震診断と耐震化
- ・家の中の安全対策

家の外の安全対策

・指定避難所常磐総合コミュニティセンター

(在宅用) 水・食料・断水時トイレの備え
(立退き避難用) 持出袋の備え

2 共助まとめ

指定避難所常磐小学校における対策の前提

① 被害想定では約千人の避難者が押し寄せます。

② 行政職員は到着しません。

③ 市指定避難所ですから非自治会員も入所します。

④ その時の避難者は、訓練を受けている人が多数になります。

⑤ 避難所の準備は、最初から（非自治会員も含め）避難者全員で行う事が基本になります。建物の安全確認とか、トイレの使用禁止です。（断水時に最初に汚すと、あとは使えません。使用を止め断水時用便袋を備えて衛生管理をスタート）

⑥ 要介護者・乳幼児・妊娠婦等の要配慮者とその保護者は、常磐総合コミュニティセンターに集約します。（収容状況によつて常小体育館内の特別区割りに変更する場合があります）

地震以外の風水害への備え

地震予知は、あつても数分前であり、想定される巨大な震動や被害の発生は突然です。

それに比べて洪水や土砂災害は、予め浸水想定区域や警戒区域等が示され、市より避難指示等もあり、そして救命救護体制にも余力が見込まれます。皆様は、平時よりご自身に関係するハザードマップを確認し、災害の種類と規模に応じた避難を心がけ、その時の風水害状況に応じて開設される避難所情報も「香川防災ナビ」等を活用し把握できるよう備えてください。

分からることは自治会班長や隣近所の方にたずねましょう。風水害への備えは、地震対応とは分けて考えましょう。

（各地自主防災会と共に消火活動、救出・救護）

さらに在宅が難しければ、避難「小学校に限りません。平時から、行き先と経路を考えておきましょう！」

避難所を開設する仕組み

（1）施設解説

小学校・常磐総合コミュニティセンターの解説は、自治会協議会

（2）避難所開設手順書を備えています。

開設の初動として必要なことは、大きく七点です。

常磐小学校区自主防災会 会報 第9号

自治会員の
皆様へ

- ・建物安全確認
- ・断水時トイレの準備
- ・発熱など感染症の隔離
- ・総合受付
- ・健康維持への応急対応
- ・スペースの区割り
- ・雨天・夜間対応
- これらの作業を分担しやすいように、手順毎に2ないし4ページ程度の手順書を作成しています。
- 手順書現物は、公民館事務室と市備蓄倉庫に設置しています。
- また、手順書の内容は、常磐地区防災計画書の一部としてホームページに公開していますが、年度単位で改定しており完全なものではありません。なぜなら、資機材を一挙に準備できず、少しづつ徐々に備えを増やしているからです。良く言えば、毎年、困ることを減しつつ進化させています。
- 特に、令和六年度は、「組織活性化事業補助金」を得て、資機材調達が大きく進展し、発電機と投光器を使用した、後記のB雨天・夜間バージョンが完成しました。(以降Bバージョンと言います。)
- Bバージョンは、当初のA晴天・昼間バージョンによる2回の実動訓練による反省を織り込み、また天候への適応を得やすいため、Aを廃棄し、Bに集約することを考

- 1はじめに読んでください
- 2備品を取りに行く
- 3災害対策本部への連絡
- 4避難者の待機・誘導
- 5避難者の受付前後の誘導
- 6掲示物の貼り出し
- 7施設内の安全点検
- 8事前受付
- 9トイレの準備
- 10専用スペースの利用準備
- 11一般避難スペースの利用準備
- 12総合受付
- 13施設内ライフラインの点検
- 14災害対策本部への連絡
- 15本部及び班編成

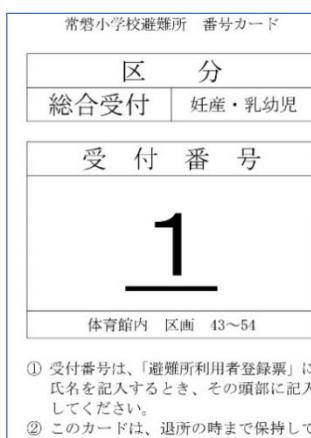
(3) 開設手順書を渡す人

校区自主防災会会长副会長理事、各地自主防災会会长・各地自治会長を対象にリーダー訓練を行っています。また今後も訓練を行います。これを経験した人のうち、実際に避難者となつた人が、4人のリーダーグループを構成し、手順書を取り出し、手順書を渡すことで指示を出します。

(4) 開設手順書を渡される人

4人のリーダーは、避難者として常磐小学校に到着した人を集め、その中の数名を単位として「手順別の手順書」を渡します。

「手順書」を読み取れば、何を準備するかが分かりますので、ご安心ください。但し、事前に訓練しておいてください。但し、事前に訓練していくことで、より早く理解できますので、令和7年度以降、手順別訓練を再開する予定です。



① 受付番号は、「避難所利用者登録票」に氏名を記入するとき、その頭部に記入してください。

② このカードは、退所の時まで保持してください。

慮中です。したがって、(3)以降は、Bバージョンを表示して説明を続けます。

- 6受付場所を設営
- 7待機避難者の誘導
- 8事前（保健）受付
- 9トイレの準備
- 10専用スペースの利用準備
- 11一般避難スペースの準備
- 12総合受付
- 13施設内ライフラインの点検
- 14災害対策本部への連絡
- 15本部及び班編成

(5) 一般の方（要配慮者以外）

① 小学校内への車両乗り入れは禁止です。徒歩で到着してください。幹線は緊急用車両通行確保のため規制。生活道は要渋滞回避。要介護者の搬送等で車の使用を避けられない場合は、最初の短時間短距離に限り可能と思料。但し無理なら引き返し、避難方法は短距離を選択など次善の策を取ってください。

② 車避難ができる広場は観音寺市より公表する予定です。

③ 小学校に到着したら、校舎本館玄関前の広場に一時待機。安全確認未了の建物には入れません。

④ 4人のリーダーから声がかかれば指示に従います。自らリーダーになれる場合は率先垂範願います。

⑤ 自分が担当した手順書の作業が終了すれば、事前・総合受付と進み「避難所利用者登録票」を提出し入所者「番号カード」を受け避難スペースに入つてください。「避難所

皆様へ

左記賄入により 小学校内使用
領域全体の夜間照明の備えが完了。
「インバーター発電機 GV 29 i 3
台・スタンードライト 1 万ルーメン
8 台・スタンードライト 5 千ルーメン
10 台・防雨リール 30 m 2 台・延
長コード 20 m 4 本・延長コード 10
m 2 本・防雨ショートタップ 3 個」

(1) 発電機・投光器

「利用者登録票」は、現地にも用紙がありますが予め記入済のストラップを持参いただくとスマーズに進みます。

⑥断水時用トイレの利用は、既設トイレから順に早めに準備する計画です。使用方法が張り出されますので、それを守つてください。



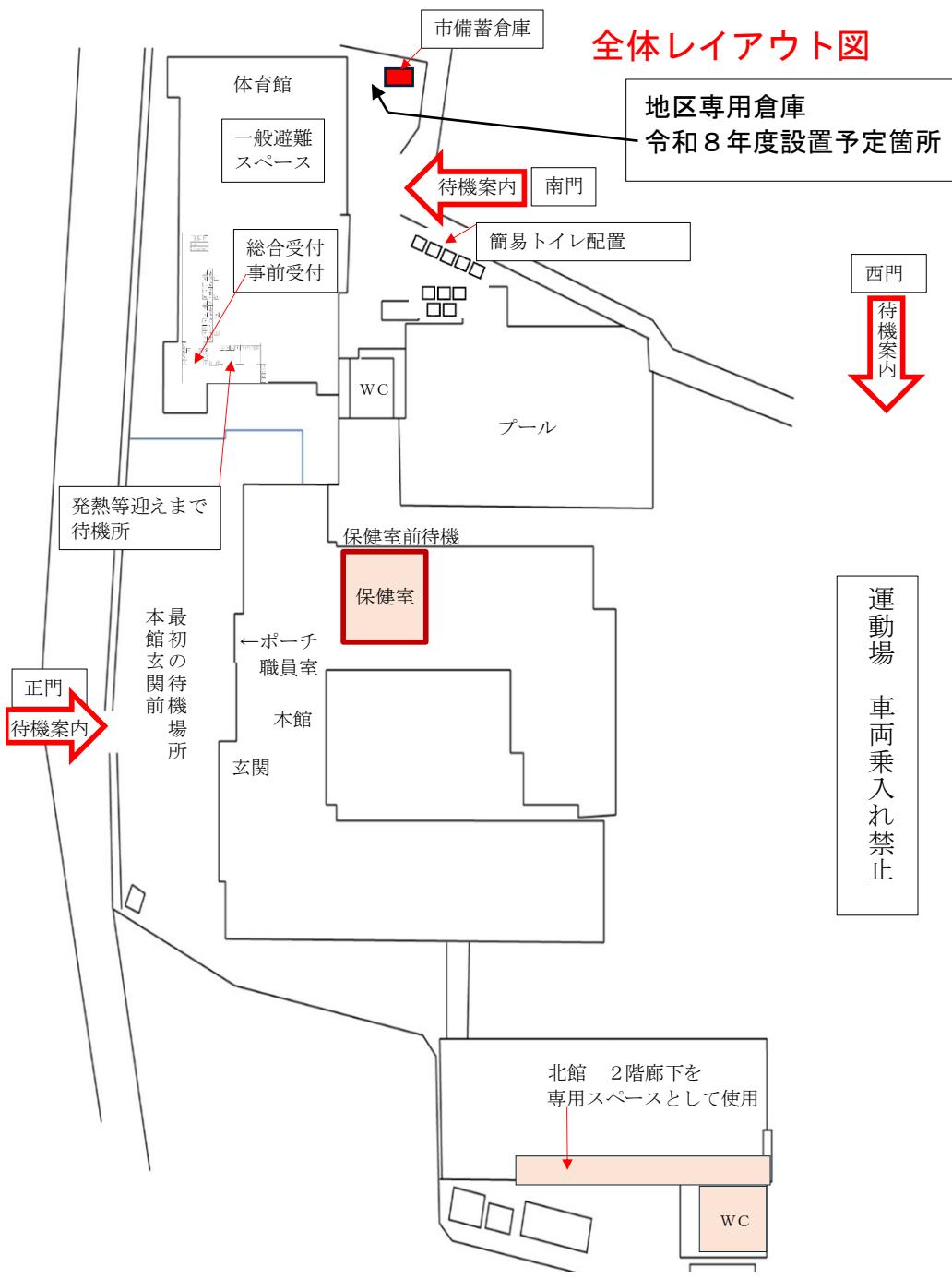
(2) テント式トイレ
7式を追加購入

(3) ヘルメット 10個購入

(4) 自動ラップ式トイレ

常磐総合コミュニケーションセンター
要配慮者の介護負担軽減の為に購入（使用済便袋に凝固剤を入れるまでは簡易セットと同様ですが、その後ボタン一つで熱圧着で閉じ

(5) 真空パック毛布
写真のとおり、250枚購入済。
想定千人に対する不足は、R8年
た袋を自動排出します。会員への
情報提供を兼ねます。)



常磐小学校区自主防災会 会報 第9号

自治会員の
皆様へ

現在、観音寺市の防災備蓄も毎年度の予算内で徐々に準備する状況にあり、用品の追加や更新、配置変更が続いています。例えば、設営が難しい既設パーテーションをワントラップ立ち上げ式間仕切りへの更新案がR8年度以降に伸びた様子ですが、これが実現すると、常小内備蓄倉庫に保管される可能性強く、行政職員が不在でも、校区自主防としてはその活用が可能となります。このように、発災直後でも活用できる市所有品は購入すべきでないことから、情報を得て調整中。検討の品目数は限られているものの、落ち着くまでにはまだ数年を要す見込みです。

- ・トイレ便袋・集積袋・凝固剤（市ト等）
- ・発電機・投光器・消耗品類
- ・各家庭内備蓄を持ち寄った上で不足する分量。
- ・メガホン・懐中電灯・リヤカー
- ・間仕切り（市との調整強い）
- ・エンジンオイル
- ・ペットスペース用資機材
- ・0歳児用ミルク等

(4) 備品

- ・メガホン・懐中電灯・リヤカー
- ・間仕切り（市との調整強い）
- ・エンジンオイル
- ・ペットスペース用資機材
- ・0歳児用ミルク等

(5) 消耗品類

- ・メガホン・懐中電灯・リヤカー
- ・間仕切り（市との調整強い）
- ・エンジンオイル
- ・ペットスペース用資機材
- ・0歳児用ミルク等

度300枚までの購入等、中期的に対応を検討中。



写真は、
真空パック毛布
10枚入り段ボール 25箱

今後の資機材調達計画

(1) 地区専用備蓄倉庫

手順書を実行する上で、その手順書に必要な資機材を要領よく取り出すことが出来なければロスが大きく負担感を増す。このため、令和8年度コミュニティ助成事業助成申請額200万円を充当し、常磐小学校内、市備蓄倉庫の横に1個、（検討中も）常磐総合コミュニティセンター内に1個の地区専用備蓄倉庫購入を検討中。

今後の訓練予定

どなたが避難者になつても、手順書の仕組みにより、円滑に避難所開設ができることを目指しています。また地区内の地質分布は多様ですが、政府の南海トラフ地震被害想定は最大震度「6強」として地区内一律です。勿論、結果的に弱くなることを望みますが、想定を外した訓練は混乱を招きますので「想定」の性質を良くご理解ください。

まことに、自身が、平時に少しでも訓練に参加し、部分的な工夫を覚えたり全体の動きが分かると、ご自身が楽になります。そのような意味で今後5年間を中途に幅広く参加者を募り実動訓練を行いたいと考えます。

リーダー訓練の参加案内に当た

参考:手順書の一部:
体育館の玄関に事前(保健)・総合受付



R6年11月会報第9号発行元・常磐小学校区自主防災会・記事横山楨三。当会詳細は「観音寺市常磐地区自治会協議会」ホームページに連結団体として掲載。